

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
情報専門課程	ゲーム学科/ゲームCGキャラクターコース(2年制)	夜・通信	1,560時間	80×2=160時間	
	ゲーム学科/ゲームプログラムコース(2年制)	夜・通信	1,440時間	80×2=160時間	
	IT学科(2年制)	夜・通信	1,380時間	80×2=160時間	
ビジネス専門課程	国際情報ビジネス学科(2年制)	夜・通信	700時間	80×2=160時間	
文化教養専門課程	アニメ学科/アニメーターコース(2年制)	夜・通信	1,440時間	80×2=160時間	
	アニメ学科/アニメ彩色・撮影コース(2年制)※1	夜・通信	1,440時間	80×2=160時間	
	ノベルス・シナリオ学科(2年制)	夜・通信	1,800時間	80×2=160時間	
	イラスト学科(2年制)	夜・通信	1,680時間	80×2=160時間	
	マンガ・イラスト学科(2年制)	夜・通信	960時間	80×2=160時間	
	フィギュア原型学科(2年制)	夜・通信	1,020時間	80×2=160時間	
	声優学科(2年制)	夜・通信	1,140時間	80×2=160時間	
(備考) ※1 アニメ学科/アニメ彩色・撮影コースは、令和5年度にアニメ彩色コースから名称変更している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校HPに公開している。

<https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校HPに公開している。
<https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022. 6. 1～ 2026. 5. 31	学園の経営計画全般についての的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2022. 6. 1～ 2026. 5. 31	学園予算について財務運営上の的確なアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(ゲーム学科、IT学科、国際情報ビジネス学科、アニメ学科、ノベルス・シナリオ学科、イラスト学科、マンガ・イラスト学科、フィギュア原型学科、声優学科)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目については、毎年度、教育課程編成委員会の意見を各学科長及び学科担当教員により、授業科目の設定・授業方法等についての検討・検証を行っている。その内容に基づき、各授業を担当する教員により、作成を行っている。</p> <p>各授業を担当する教員へは「シラバス作成の方法と手引き」を示し、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の授業計画は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会時の議案で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。その後、翌年度分のシラバスを学校HPに公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校HPに公開している。</p> <p>https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目に於いて、成績の評価及び卒業・修了の認定について規定している。</p> <p>(参考)</p> <p>◆学則の細目第10条 (成績の評価)</p> <p>教科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合勘案して行い、合格者に対して該当科目の修了を認定する。</p> <p>2 その教科目について、出席率75%以上に満たない者は、該当科目の履修の認定はしない。</p> <p>◆学則の細目第19条 (卒業・修了の認定)</p> <p>第10条に定める教科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。</p> <p>2 所定の在学年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学科ごとに履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)仕組みを導入している。</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、レポートなどの提出物)及び出席率によって評価される。当校では各授業の評価を100点満点を基準として、50点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により、80点以上をA、65点以上をB、50点以上をC、49点以下をDとして、成績が通知される。</p> <p>客観的な指標の算出方法としては、学生個人の全ての成績(100点満点で点数化)を合計し、履修科目数で除した点数により平均点を算出する。学科ごとに全学生の平均点を算出し、順位付けを行い、指標分布を作成する。</p> <p>成績評価方法については、学校HPで公開するほか、記載している学生生活マニュアルをオリエンテーションで学生等へ配布している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>学校HPに公開している。</p> <p>https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、学校教育法に基づき、電子計算機・情報処理の専門技術、ビジネス・商業実践の教育を施し、並びに音楽やデザインの実務知識を修得させ、経済社会全般にわたる専門的な実務上の処理に充分に対応できる人材の養成をもって社会に寄与することを目的とする。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細についてはディプロマ・ポリシーをはじめ、学則細目、学生生活マニュアル等に記載している。</p> <p>本校では、ディプロマ・ポリシーを策定し、学校HPに公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>学校HPに公開している。</p> <p>https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
収支計算書又は 損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査 報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	ゲーム学科 ゲームCGキャラクターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,560 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人の内数		31人	3人	3人の内数	7人の内数	10人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 通常の授業の他、企業連携による課題制作やコンテスト応募など学生のスキルアップにつながる取り組みも行う。年2回の個人面談や状況に応じた個別面談を通じ進路指導を行い、個々の目標を定め適切な進路決定に結びつくよう指導している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	1人 (2.9%)	18人 (52.9%)	15人 (44.2%)
（主な就職、業界等） ゲーム・アニメ・映像業界（株式会社草薙、株式会社メディア22世紀） IT業界（株式会社ウガトリア）等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート添削、面接指導、企業説明会開催、インターンシップ紹介			
（主な学修成果（資格・検定等）） CGクリエイター検定、ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	4 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	ゲーム学科 ゲームプログラムコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	420 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,380 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
75人の内数	26人	3人	3人の内数	7人の内数	10人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 通常の授業の他、企業連携による課題制作やコンテスト応募など学生のスキルアップにつながる取り組みも行う。年2回の個人面談や状況に応じた個別面談を通じ進路指導を行い、個々の目標を定め適切な進路決定に結びつくよう指導している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	1人 (2.9%)	18人 (52.9%)	15人 (44.2%)
（主な就職、業界等） ゲーム業界（株式会社オプティウエーブ） IT業界（株式会社ビーネックステクノロジーズ、株式会社スピントテクノロジー、 株式会社メイテックフィルダーズ）等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート添削、面接指導、企業説明会開催、インターンシップ紹介			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	4 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業関係		情報専門課程	I T 学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	1,080 単位時間 /単位	単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
44人	16人	16人	3人	2人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担当教員による相談受付、面談、進路指導。 情報処理技術者試験対策、ビジネスマナー等の支援。 留学生および外国籍学生のための日本語能力試験（JLPT）対策。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	2人 (10.5%)	5人 (26.3%)	12人 (63.2%)
（主な就職、業界等） I T 業界 等			
（就職指導内容） プログラマ適性検査、履歴書・エントリーシートの添削、面接練習、企業説明会開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報処理技術者試験（基本情報技術者、I T パスポート） 日本語能力試験N 1, N 2			
（備考）（任意記載事項） ※ I T 学科は、令和4年度に I T ソリューション学科より名称変更をしている。学年進行。 令和4年度の実績は、I T ソリューション学科のものである。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	2 人	7.4%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業事務関係		ビジネス 専門課程	国際情報ビジネス学科 (令和5年度入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	1,500 単位時間 /単位	単位時間 /単位	300 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		28人	28人	4人	7人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要)	様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法	
(概要)	様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準	
(概要)	様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等	
(概要)	年2回の日本語能力試験に合わせて授業を展開。合わせて学期末の授業では、終了時点までの講義内容理解のためのテストを各授業で実施し習得度を確認している。また、担当教員による面談による進路指導や就職指導、校外学習などを設定し積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
83人 (100%)	8人 (9.6%)	27人 (32.5%)	48人 (57.9%)
(主な就職、業界等) ホテル、人材紹介会社、販売店 等			
(就職指導内容) 履歴書添削、求人票紹介、就職イベント紹介、就職ガイダンス開催、面接指導、個人面談 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験(N2, N1)合格またはそのレベル相当の日本語運用能力の習得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128 人	7 人	5.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業事務関係		ビジネス 専門課程	国際情報ビジネス学科 (令和4年度入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,768 単位時間/単位	1,428 単位時間/単位	単位時間/単位	340 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
116人	38人	38人	4人	7人	11人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 年2回の日本語能力試験に合わせて授業を展開。合わせて学期末の授業では、終了時点までの講義内容理解のためのテストを各授業で実施し習得度を確認している。また、担当教員による面談による進路指導や就職指導、校外学習などを設定し積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
83人 (100%)	8人 (9.6%)	27人 (32.5%)	48人 (57.9%)
(主な就職、業界等) ホテル、人材紹介会社、販売店 等			
(就職指導内容) 履歴書添削、求人票紹介、就職イベント紹介、就職ガイダンス開催、面接指導、個人面談 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験(N2, N1)合格またはそのレベル相当の日本語運用能力の習得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128 人	7 人	5.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	アニメ学科/ アニメーターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,560 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
75人の内数	43人	2人	3人の内数	10人の内数	13人の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） アニメ企業への訪問を適宜行っている。また、アニメ企業による校内での説明会やポートフォリオ 評価会などを行っている。就職に向けての企業の選択についての相談会を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	0人 (0.0%)	23人 (92.0%)	2人 (8.0%)
（主な就職、業界等） (株)MAPPA、(株)バンダイナムコフィルムワークス、(株)Seven Arcs、(株)垂細亜堂、(株)グラフィニカ、 (株)バンダイナムコピクチャーズ、(株)シャフト、(株)フラッド、サンライズ作画塾 等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート・作文の書き方、面接トレーニング、ビジネスマナー講座			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	2 人	2.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	アニメ学科/ アニメ彩色・撮影コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,560 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
75人の内数	37人	2人	3人の内数	10人の内数	13人の内数		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) アニメ企業への訪問を適宜行っている。また、アニメ企業による校内での説明会やポートフォリオ 評価会などを行っている。就職に向けての企業の選択についての相談会を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0.0%)	23人 (92.0%)	2人 (8.0%)
(主な就職、業界等) (株)バンダイナムコフィルムワークス、(株)プロダクションIG、(株)Cygames Pictures、 (株)マッドボックス、(株)グラフィニカ、(株)マッドボックス、(株)旭プロダクション (株)サンシャインコーポレーション、(株)アニメッシュ 等			
(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート・作文の書き方、面接トレーニング、ビジネスマナー講座			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス能力検定 色彩検定			
(備考) (任意記載事項) ※アニメ彩色・撮影コースは、令和5年度にアニメ彩色コースより名称変更している。学年進行。 令和4年度の実績は、アニメ彩色コースのものである。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	2 人	2.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	ノベルス・シナリオ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,560 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45人	35人	0人	3人	8人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各教員が学生作品の作業進捗状況を把握し、添削等を重ねスキルアップ出来るよう支援している。また学内外においてイベントを企画するとともに2年間の集大成として卒業作品を制作するなど学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (50.0%)	8人 (50.0%)
（主な就職、業界等） 編集プロダクション、映像編集会社、ゲーム会社、番組制作会社 等			
（就職指導内容） 個別面談、履歴書添削、面接指導、業界関係者によるセミナーや講評会を開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定、文章読解・作成能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	4 人	12.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養関係		文化教養 専門課程	イラスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	360 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,440 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		176人	3人	4人	11人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 随時担任による個別面談・進路指導を行っている。また、検定取得において事前対策特別授業を設け、意欲のある学生に積極的に支援を行い、業界に向けての意識を付けさせている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69人 (100%)	1人 (1.4%)	29人 (42.0%)	39人 (56.6%)
（主な就職、業界等） デザイン業界、ゲーム業界、Webデザイン業界 等			
（就職指導内容） ビジネス能力試験を踏まえたビジネスマナー指導、履歴書指導、面接指導、個人面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） カラーデザイン検定、Photoshopクリエイター能力認定試験、Illustrator能力認定試験、 CLIP STUDIO PAINTクリエイター検定、ビジネス能力認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
162 人	11 人	6.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	マンガ・イラスト学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	360 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,440 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	31人	1人	3人	6人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） ・COMITIA（マンガイベント）への参加 ・編集部批評会や集団持ち込み会 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (28.6%)	5人 (71.4%)
（主な就職、業界等） 出版社編集担当付きに加え、WEBTOONやWebマンガ家として活躍している。 また、ゲーム会社2Dデザイナー・マンガ家アシスタントとして活躍している。			
（就職指導内容） 業界・企業研究（特別講義、業界セミナー等）、出版編集部批評会、 応募書類作成、模擬面接、ポートフォリオ作成			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項） ※マンガ・イラスト学科は、令和4年度にコミックイラスト学科より名称変更をしている。学年進行。 令和4年度の実績は、コミックイラスト学科のものである。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	フィギュア原型学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,560 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	22人	4人	3人	2人	5人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 前期末・後期末毎に講義をまとめた試験もしくは実習で設けた課題のチェックを行っている。また随時、担任による個人面談、進路指導、学外教育活動の紹介等を行い、意欲ある学生の学修を支援している

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0.0%)	3人 (37.5%)	5人 (62.5%)
(主な就職、業界等) フィギュアメーカー (PRISMA WING) 美術造形メーカー (ムービック・プロモートサービス、秋山工房) 等			
(就職指導内容) ビジネスマナー、履歴書添削、面接トレーニング、OB訪問、企業見学、 就活準備講座(身だしなみ等)			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス能力検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	声優学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間/単位	360 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,440 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45人	31人	1人	3人	13人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の中で、プロの現場と照らし合わせ必要となる基礎の習得から現場でなくてはならない応用まで 実戦形式に見つけさせ前期、後期の終わりに発表という形で表現させ身につけさせている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	1人 (11.1%)	1人 (11.1%)	7人 (77.8%)
(主な就職、業界等) プロダクション (テアトルエコー、マウスプロモーション、ゆーりんプロ、 レオパードスタイル)、劇団等、各種声優業界			
(就職指導内容) プロフィールシート添削、オーディション面接・課題対策、プロダクション説明会、 ワークショップの開催			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス能力検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	3 人	12.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとに担任教員と個人面談を行う。また、学内に於いてカウンセラーとの個人面談を実施し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ゲーム学科 (2年制)	100,000円	660,000円	520,000円	
I T学科 (2年制)	100,000円	640,000円	170,000円	
国際情報ビジネス学科 (2年制)	100,000円	640,000円	70,000円	
アニメ学科 (2年制)	100,000円	660,000円	520,000円	
ノベルス・シナリオ学科 (2年制)	100,000円	660,000円	520,000円	
イラスト学科 (2年制)	100,000円	660,000円	520,000円	
マンガ・イラスト学科 (2年制)	100,000円	660,000円	520,000円	
フィギュア原型学科 (2年制)	100,000円	660,000円	520,000円	
声優学科 (2年制)	100,000円	660,000円	520,000円	
修学支援 (任意記載事項)				
【学校独自の修学支援制度】 ・奨学金制度 (支給) ・授業料減免制度 (特待生、クリエイティブ優遇、各種優遇等)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関連企業、卒業生等を含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの専門的・客観的な観点から学校運営、教育活動等について評価を行っている。評価内容は、学校運営会議等で報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
フィギュア制作会社 社員 (課長職)	2022. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
アニメ制作会社 役員	2022. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
声優プロダクション 役員	2022. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
シナリオ制作会社 役員	2022. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
デザイン制作会社 役員	2022. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
ゲーム制作会社 社員 (部長職)	2022. 4. 1～2023. 3. 31	企業等委員
アニメーター	2022. 4. 1～2023. 3. 31	卒業生
地元企業 役員	2022. 4. 1～2023. 3. 31	地域住民

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HPに公開している。 https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.dat.ac.jp/guide/public-info/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113311600360
学校名	専門学校デジタルアーツ東京
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		53人	45人	53人
内 訳	第Ⅰ区分	31人	31人	
	第Ⅱ区分	11人	-	
	第Ⅲ区分	11人	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				53人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-	-	-
計	-	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。